九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[008] 語文研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10288

出版情報：語文研究. 8, 1959-02-01. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

講義題目

昭和32年度 第二学期（自昭和32年10月 至昭和33年3月）

（大学院）国語学演習（古代日本語の音韻）　福田教授
（〃）国語学特研（伊勢物語）　福田教授
（大学院 学部）国語学演習（万葉集巻七）　福田教授
（〃）国語学特講（古代社会における言語と文学）　福田教授
（大学院 学部）国語学演習（日本霊異記）　春日助教授
（学部）国語学（日本文法——文章論）　春日助教授
（〃）国文学講読（徒然草）　春日助教授
（〃）国文学史（古代漢文体伝奇の問題）　今井助教授
（〃）国文学講読（大和物語）　今井助教授
（〃）国文学演習（本朝文粋）　今井助教授
（〃）国文学演習（枕草子研究）（分校）　穴山教授

昭和33年度 第一学期（自昭和33年4月 至昭和33年9月）

（大学院）国語学演習（古代語の語法について）　福田教授
（〃）国語学特研（伊勢物語）　福田教授
（大学院 学部）国語学演習（万葉集巻七）　福田教授
（〃）国語学特講（古代社会における言語と文学）　福田教授
（大学院）国文学特研（近世文学意識の研究）　中村教授
（大学院 学部）国文学演習（西鶴置土産）　中村教授
（〃）国文学史（近世文学史）　中村教授
（〃）国語学演習（日本霊異記）　春日助教授
（学部）国語学（日本文法——敬語法の諸問題）　春日助教授
（〃）国文学講読（徒然草）　春日助教授
（〃）国文学史（平安朝文学史）　今井助教授
（〃）国文学講読（大和物語）　今井助教授
（大学院 学部）国文学演習（本朝文粋）　今井助教授

行事その他

一、九大国文学会例会（昭和32年12月14日　於法文経一番教室）
研究発表者並びに題目
「おくのほそ道」の曾良の句について　白石悌三
キリシタン『懺悔録』の助動詞「つろう」　篠崎久躬
おしはかる「けり」について　佐田智明
ついで福田良輔教授の「古代日本語の一、二の動詞について」の講話があった。

一、昭和32年10月卒業者論文題目及び氏名
狂言について　下田久彦

一、進学生歓迎会

昭和32年11月16日　於大会議室　進学生十五名

一、昭和32年度卒業論文発表会並びに予餞会

（昭和33年2月9日　於三畏閣）

（学　部）

近松の世話物における進展について　田中義夫

芭蕉の歌仙連句の構成　加藤健

つれつれ草の形態　佐伯祐子

柿本朝臣人麻呂集の性格について　福田澪

狂言にみえる言葉　岸本卓

蜻蛉日記成立の研究　福井妙子

西鶴の方法　山口宗久

石川啄木試論　渡辺斌

今昔物語集における王朝説話の問題　大隅礼子

二葉亭四迷論　田中清文

菅原孝標女研究　永江京子

（大学院修士課程）

キリシタン懺悔録の研究　篠崎久躬

日本書紀に見える朝鮮語　藤井茂利

一、中村幸彦教授着任歓迎会

昭和33年4月19日　糸島郡子負原まで遠足

一、昭和33年度九大国文学会総会並びに研究発表会、及び春日政治先生八十賀寿宴会兼中村先生歓迎会及び懇親会

（昭和32年5月18日）

研究発表氏名並びに題目

上代の個有名詞に見える二、三の字音仮名について　原口裕

切字の史的研究　田中道雄

陳述論　益田利生

「木曽」と「木曽殿」と　笠栄治

南九州方言の形容詞の活用について　上村孝二

右終了後、

近畿文学遺跡スライド映写　解説　中村幸彦教授

なお春日政治先生賀寿宴会兼中村先生歓迎会は午後六時から市内「よしだ」にて春日先生御夫妻令息和男先生、御来任の中村先生を囲んで近畿・中国・九州各地の卒業生参会のもとに和やかに催された。

一、第七回西日本国語国文学会総会並びに研究発表会

（昭和32年9月20日、21日、於大分大学）

なお九大関係の発表者は左の通りである。（発表順）

第一日

花山院について　九州大学助教授　今井源衛

万葉集訓詁の一方法　熊本女子大学講師　鶴久

中世初期歌人の言語把握　九大大学院　佐田智明

おくのほそ道の構成　九大大学院　白石悌三

看聞御記に見える平曲関係の記事について　九大大学院　笠栄治

蕉風俳諧の成立過程における内在的諸契機の考察——天和・貞享期における芭蕉——　大淀高校　田尻竜正